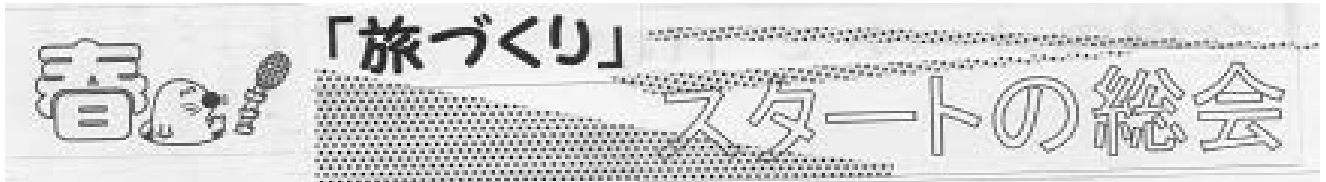


旅と絆

株)センターツーリスト
「旅行友の会」会報
第30号(春号)

発行責任者 古久保 暢男
2010年3月1日発行



ちんちんとお越しを・・・

花の季節。4月3日はセンターツーリスト旅行友の会の総会です。

友の会の会員も9000人を超えました。毎年落語を楽しんでいるのを機に新会員も増えています。是非、新しい方に声をかけ、お誘いください。

午前中は皆様のご要望で繁昌亭の落語を楽しんでいただき、午後、繁昌亭支配人の恩田雅和さんに「上方落語と繁昌亭」と題して

お話しをしていただきませす。引き続き総会です。総会のあとは、大川端の公園でお花見も別途企画して

事務局長 上村得世

「自然」、「文化」をテーマにした旅づくりを楽しみたいと思えます。

総会後はお花見で一杯！



2010年度友の会総会ご案内

日時 2010年4月3日(土)
午前10:00～(開場9:30)
場所 第I部 繁昌亭落語観賞
第II部 グリーン会館
会費 I部・II部合わせて2000円
(弁当・お茶付き)

落語観賞のみ1500円

※参加希望の方は別紙申込書にご記入のうえ、センターツーリストにFAXでご回答をお願いします

【恩田雅和さんのプロフィール】

1949年9月新潟市生まれ。慶応義塾大学文学部卒業。大阪大学大学院文学研究科終了。和歌山放送で放送記者、ディレクター、プロデューサーを務め、06年12月退社。

07年1月天満天神繁昌亭支配人に就任。

07年4月より和歌山大学経済学部非常勤講師。著書に『落語ジャーナリズム』(有馬書店)、共著に『紀伊半島近代文学事典』(和泉書院)。

04年10月、長年の地域寄席主宰により第15回アゼリア賞受賞。

06年10月、夏目漱石の研究により、第1回古本文学大賞受賞。

09年11月、漱石研究と落語研究により第17回大桑文化奨励賞受賞。



写真提供: 荒川繁壽氏

堪能!

世界で一番美しい散歩道

ニュージーランド・トレッキングに18名参加

前川 明雄

憧れのミルフォード・トラックに2年間の恋が実り、1月29日夏真っ盛りの南半球ニュージーランドへと出発しました。

ミルフォード・トラックはニュージーランドの代表的なトレッキングコースとして知られ、世界で一番美しい散歩道と言われています。氷河時代に造られたU字谷を埋め尽くす緑濃いシダや苔で覆われた原生林と豊かな溪流の中、全長54kmを3泊4日かけて歩きました。
トレッキングでもう一つ楽しかったのは世界の人たちとの交流でした。
総勢49名の内、日本人は私たちのグループと東

京の親子2名の21名でした。

最初のロッジ・グレイドハウスでは、各国ごとの自己紹介が行われ、チーム日本は「四季の歌」を合唱しました。

また、最終日のマイターピーク・ロッジの完歩証授賞式ではドレミの歌を皆で歌い、中尾さんが用意した折り紙(万華鏡)を贈り、大変喜ばれました。

雨の多いニュージーランドで天候に恵まれ、全員が元気で歩かれた素晴らしい体験を共に喜び合いたいと思っています。

《山歩の長》

4〜5年前からミルフォード・トラックのトレッキングに恋焦がれ、秘かに英会話教室にも通い始めました。でも、肝心の一緒に行く相手がいないのです。休暇・体力、金力が揃わないのです。

センターツーリストのキャ



自然は最大の贈り物

何よりも天気が良くて、4日間雨に遭うことなく54kmを完歩することができました。

50名の参加者の中で最年長は、80歳のオーストラリアのお母さん。朝からひた

ンセル待ちから昇格したのは出発一ヶ月前でした。

当日の天気はすべて快晴(フッカーバレー・トラックだけ霧が)。お昼過ぎまで昇っている月と一緒に川の水を飲み、透き通るような川で泳ぐマス、初めて見る氷河、滝、花鳥など、今も私の心を優しくしてくれます。
《高田 淳子》

.....
すら歩いて、大自然の中で自製のお昼を食べ、夕食の時だけビールを飲み、夜10時には自家発電の電源が切れ、寝るしかないという健康的な毎日でした。

ただ一つの大敵はサンドフライ(ブヨ)です。虫除けを塗っていても手や足や首や耳たぶまで噛まれ、ベッドで温まってくると痒くてたまりません。小さな洗面器と壁に固定されたシャワーが大活躍でした。

《南 千恵子》

かわいいブナの葉にまた会えて

《田中 洋子》

世界で最も美しい散歩道っていわれているミル



フードトラック。以前、今回は人間が多かったのトラックの入口まで散歩したけれど、今回はトラック一周だよ！

あの時もブナの森が印象に残り、かわいいブナの葉っぱにまた遭えたのが嬉しかった。

相変わらず小鳥たちがそばによって来る。あの時は掌に乗ったけれど、旅はいいもの。出会ったガイドさん達は今日もまたあの道を足早に歩いていることでしょう。

会員さん紹介

味の企画を

淀川区

姫野浄さん

新入会員として一言ご挨拶を。

私は長年公職に就いていましたので、官制の視察旅行には数多く参加しましたが楽しんでおりました。その中で私の期待は出来るだけ色々なところで、人間的な交流のできる企画

をつくって頂ければという事です。国内、国外を問わず景色もよし、歴史の重みも人間くささも感じる味のある企画を願っています。

その点、センターリストは長年の経験の蓄積とセンスがしっかりと備わっていると思

います。どうか楽しみの多い旅行プランをたくさんつくってください。そして友の会は会員皆さんの相互交流も重ねて、関西・大阪で新しいエネルギーの発信源のひとつになっていただければと思います。

「元気でしなやかに人間らしく」

“旅”をしたい・・・<その4>

※いきいき元気お手伝いマン 桜井市・辻野忠男さんのシリーズです

歌舞伎や能、狂言の役者やプロの舞踏家などは、背筋もシャンとしてかっこよく歩きます。

背丈がそんなになくとも、存在感があり大きく見えます。

腰から下は「しっかり地面を(足裏全体で)真下に踏みしめ」、頭と胸は「真上から吊り上げられているように」伸びています。

「まっすぐ上下に引張られている」イメージです。(お尻の穴を真下に向けてるので)ひざはややゆるみ、それでいてぐらつきません。

背筋はまっすぐで、腰や股関節は柔らかいです。重心がぶれず、体の向き・手足の動きは「腰と共に」動きます。自然できれいで、大きく、伸びやか

です。腰を使って歩けば良いのですが、実際はなかなか難しいものです。かかどでしっかり着地し、手は(前に振るより)後ろに引くことを意識しましょう。

最初はゆっくり、気持ちの良い形を求めてやりましょう。

荷物を持っていたり、しんどいときは、(キリンさんのような)体のブレを防ぐ「ナンバ歩き」をお勧めします。

右足・右肩を同じ方向(前後)に動かす歩き方です。(完)
[いきいき元気お手伝いマン] 桜井市・辻野忠男



友の会
写真部主催

写真部の撮影会ですが、どなたでも参加できますよ!

日本一の 藤棚ロード (1646m)



バスツアーのコース見どころ

8:00旧中央郵便局前発⇒阪和道・紀ノ川SAでトイレ休憩⇒11:00着 美山の里藤棚ロード散策(1646mは日本一の藤棚トンネルが山頂まで。圧巻ですぞ)⇒愛徳荘で昼食休憩⇒明恵峡温泉で入浴(山間にある広々とした温泉)⇒「どどん広場」で買い物(地元で採れた新鮮野菜、魚、果物、饅頭など格安で販売。どどん買ってください)⇒18:00旧中央郵便局前

日時 2010年4月29日(木・祝日)
集合 梅田旧中央郵便局前午前7時50分
費用 7,500円(バス、昼食、入浴、入園)
申し込みはセンターツーリスト清野まで
TEL:06-6354-9131 FAX:06-6354-9134

リニューアル ホームページ(2月1日~)

アドレスは下記の通りです
<http://www.center-tourist.co.jp>
センターツーリストでもご覧になれます。

○旅の記事満載○

編集長の コーヒーブレイク



書店の旅のコーナーには旅の達人と自称する人たちが、「こんな安上がりで、こんなに充実した旅が出来る」と主張しているのによく出くわします。

しかし、「楽しかった」という言葉はどこにも見当たりません。旅はもともとお金がかかるもの、日常生活圏から離れて遠い国の異なる環境の土地に行き、不慣れな行動をするわけですからお金がかかるのは当然ではないでしょうか。

しかも、楽しさを求めて旅をするのですから快適と安全を手に入れるための出費は避けられません。いや避けるべきではないのです。

旅を楽しむことは、いかに時間とお金を上手に使うかということでもあります。旅はお金をかけてこそ楽しいといっても、それは決して贅沢をしようということではありません。必要なだけのお金をかけて十分に楽しむこと、節約することのメリハリをつけることではないでしょうか。

ホームページを幅広い人たちに見ていただくため、専門家を含め検討し、2月1日から装い新たに再デビューしました。

ただ社員がほとんどを手がけますので、プロフェッショナルにはいかないと思いますが、ご覧くだされば幸いです。

ベトナムの子どもたちへ贈り物を

アメリカのベトナム侵略を告発し、世界の平和と友好・交流を促進するための「戦争証跡博物館」館内に、子どものための「平和教育室」が設けられることになり、私たちが教材(机、椅子、本棚など)の一部にとカンパを募ることになりました。

近く発足する「世話人会」から友の会のみなさんに、要請の案内があると思いますので、ご協力をよろしく願います。